

【目次】

- 1P：事業戦略策定支援セミナー、土佐MBAエグゼクティブコース開講
- 2P：厚労省「地域発！いいもの」受賞取材、高知高専生との県内企業研究会
- 3P：大学生のインターンシップに関する調査結果
- 4P：ご案内（工業会の取組み事例発表会、こども鋳物教室、品質管理研修）

■平成30年度 事業戦略策定促進事業(総務委員会主管)

9/14-15 事業戦略策定支援セミナー(2回目)を実施

●事業戦略シートの数値化

7/13-14に実施した第1回支援セミナーで検討した内容をもとに、計画の目標の数値化、収支計画などを中心に行いました（下表、事業戦略シート概要の⑥、⑦、⑧について）。以下にワークの主な内容を示します。

- ・ありたい姿ワーク（5年後のありたい姿の基本方針と業務目標の設定）
- ・中期計画ワーク（中長期業績目論見シートの作成）
- ・BSC(バランススコアカード)の落とし込みワーク（各項目の目標設定）

今後、参画企業7社はさらに磨き上げを行い、完成度を高めてまいります。

※9/26現在 会員企業の事業戦略策定状況（産業振興センター仕様）
策定完了：31社 策定中：13社 策定予定：5社



●事業戦略シート（総括表）の概要

★ 企業理念 (ビジョン) :

★ 企業使命 (ミッション) :

現在の姿	ありたい姿(5年後)	実現するための課題設定
①事業概要	④着地点(5年後)の目標	⑤着地点(5年後)に向けた取組み課題
②マクロ・業界(外部環境)分析	⑥指標となる数値 (KPI)の目標 事業戦略 (BSC) の落とし込み	⑦1年目の取組み課題 機能・組織別課題マップ
③ミクロ・自社(内部環境)分析	⑧中長期業績目論見	

■ 9/27 平成30年度「土佐MBAエグゼクティブコース」が開講

●人材育成委員会 中核人材の育成を支援

3年目のMBAエグゼクティブ。本講座は現在、また将来の経営者や経営幹部の方などを対象として実施し、本年度も中核人材育成支援のため受講者への支援を行います。参加者数は19名。

講義の概要は、「予習」→「講義」→「復習」→「実践」のサイクルが的確に回るようにカリキュラムを設定しています。講座は6講座を設定し、最終は来年の2月14日となります。



※会員企業（4社/4名参加）

（株）カマハラ鋳鋼所、（株）坂本技研、（株）トミナガ、日之出産業（株）

ココプラで開講式

9/26 高知のエジソン賞委員会 「地域発！いいもの」賞の取材に対応

●冊子を発行

昨年度、高知のエジソン（垣内保夫）賞の取組みが「地域発！いいもの」を受賞しました。厚労省では全国を受賞案件等を冊子として発行するため当会に取材協力の依頼があり、東京から来高のライター・カメラマンに同行しました。取材先は下記の3か所。

- (株)垣内：エジソン賞ゆかりの地
- 南国市立大湊小学校：エジソン賞に熱意ある学校
- 南国市立香南中学校：2012年度最優秀賞者の学校



(株)垣内にて
安岡副会長（左）・弘内委員長（右）



大湊小学校にて
昨年度受賞者の生徒さんと先生



香南中学校にて
2012年度最優秀（セーフティランドセル）
重国 克也さん（中1）

●「地域発！いいもの」賞とは

- ・厚生労働省事業。地域で行われている「ものづくり産業振興」等に資する特色ある取組みなどを「地域発！いいもの」として選定。
- ・受賞を広く周知することにより、地域における技能振興等の機運を高め、ひいては地域の活性化を図ることを目的とする。

人材確保委員会

高知県の企業による高知高専生のための「県内企業研究会」を開催

○業種を拡大して県内企業研究会を開催

人材確保委員会では、機械系企業を中心とした県内企業研究会から、より多くの学生に県内企業への関心を高めてもらうために、業種を拡大して開催することにしました。

今回の取組みは初めての試み。金もなし。参加企業が机を持ちよるなど、皆さまのご理解とご協力のもと、手作りの「県内企業研究会」を開催いたします。

日時：2018年11月6日（火）
14:45～17:30（準備13:00～）

会場：第1体育館

対象：2020年3月卒業予定の本科4年生・専攻科1年生
※下級生（1～3年生）も任意で参加可能

★参加状況（9/28申込み締切り）

機械系：16社
電気・情報系：5社
化学系：9社
建設・土木系：11社

参加企業合計41社。内、会員企業21社

※その他の交流事業

○地域ものづくり企業のバスツアー見学

- ・ソーシャルデザイン工学科1年生 12/18
- ・2年生は第7回ものづくり総合技術展に参加（11/15）するためバスツアーは実施しない。

○特別活動における業種研究会

- ・ソーシャルデザイン工学科1年生 1/29
- ・ " 2年生 12/13



共催：高知高専キャリア支援室・高知高専地域連携協力会・（一社）高知県工業会

協力：（一社）高知県情報産業協会・（一社）高知県製紙工業会・（一社）高知県建設業協会

注）高知高専地域連携協力会：高知高専テクノフェローが発展的解消して新たに発足（2018年7月）した任意団体

高知県 新規大卒者らの県内就職を促進

インターンシップ受入れに関する調査結果（県商工政策課実施 調査期間：8/27-9/4）

2018/9/20 高知新聞

「9月県議会」知事の所信表明（要旨）

県内大学生のUターン就職率（2017年3月卒業生）は16.4%。5年前より2.4ポイント向上しているものの、県内就職の大幅な底上げに至っていない。

就職につながりやすいとされるインターンシップを実施している企業の割合が、全国と比べて大幅に低い課題がある。実施企業数の拡大を図り、プログラムの磨き上げ支援にも取り組む。

一連の取り組みを進めるため、コーディネーター2人を新たに配置する。

●会員企業（18社回答）の集計結果は以下の通りです。

1-1 インターンシップを実施していますか。

はい	8
いいえ	10
合計	18

今年度の受入人数は（1-1 はい回答）

	日数	人数
県内大学生	1日	0
	2日～3日	0
	4日～6日	1
	7日～13日	17
	14日以上	2
注) 県外大学生の受入れ回答なし		

1-3 インターンシップの実施にあたっての工夫

学生の希望に添ったプログラムの策定	7
県外学生への交通費補助	0
インターンシップ実施後のフォロー	1
その他	2

1-4 インターンシップを実施していない理由

やり方がわからない	1
受入体制が整わない	5
必要性を感じない	0
その他	3

1-2 インターンシップの効果について（複数回答可）

採用を意識した学生のスキルの見極め	5
自社に対する理解・イメージアップ	8
社員の活性化	5
就職希望者の増加	4
その他	0

1-5 企業向けインターンシップセミナーがあれば参加したいですか。

はい	9
いいえ	7
未記入	2

1-6 インターンシップ実施にあたっての県からの支援の希望について

- ・大学と企業の橋渡しをお願いしたい。応募の窓口を教えてください。
- ・地元企業への就職希望者がいれば検討したい。工学系の生徒を希望する。積極的な情報の提供を希望する。
- ・就職希望の学生とインターンシップ実施前にふれあう機会をつくって頂きたいです。
- ・県外学生であれば、県内企業への就職を希望している学生を紹介してくれるような支援
- ・実施計画書等の資料作成の支援があれば企業の負担も軽減されると思います。
- ・インターンシップは受入体制が整っていない為、半日の会社説明＋工場見学を行っているが、学生（特に県外）の交通費の補助があれば、参加しやすいのではないかと思います。
- ・大学別の学生数の把握
- 県内高校への詳細な進学状況の調査。県外（中四国・近畿・関東など）でのマッチングの場の提供や可能であれば製造業のみなど業種別が良い。

■ 会員企業の取組み事例発表会 ・ 親睦交流会のご案内

日 時：平成30年**10月26日**（金）

●取組み事例発表会 14：30～17：00 ●親睦交流会 17：15～

場 所：サンピアセリーズ

◇プログラム（案）

Part1

●IT/ICT等を活用した生産性向上

(有) 野本精工舎
(株) シティネット
(株) カマハラ鋳鋼所
県産業振興センターよろず支援拠点

※Part1は高知県職業能力開発協会と共催

Part2

●平成30年度事業戦略策定促進事業

(株) 協同工機
(株) キョウトウ
高知機型工業 (株)

Part3

●ものづくりの外商活動

- ①海外事業展開
(株) SKK、県産業振興センター
- ②展示会出展プロジェクト
-リバースエンジニアリングによる木毛製造機の復元-
工業会受注拡大委員会、高知職業能力開発短期大学校、(有) 戸田商行
※展示会：2018年関西機械要素技術展

● 第2回 こども鋳物教室 ご案内

日 時：平成30年**11月17日**（土）

午前の部 10：00～12：00

午後の部 13：00～15：00

場 所：高知県立地域職業訓練センター

定 員：40名（午前・午後 各々20名）

対 象：小学生

お問合せ先：（一社）高知県工業会事務局

TEL 088-854-8994

※ものづくり総合技術展と連動して開催

● 品質管理実践研修 ご案内

日 時：平成30年**12月6日**（木）

場 所：高知県立地域職業訓練センター

【カリキュラム内容】

- ・不良ゼロ化と品質管理の進め方
- ・品質管理活動の推進と作業標準化
- ・QC的問題解決による不良・クレームゼロ化

■定員15名 受講料：会員無料

※まもなく募集を開始

10月の行事予定

3～5	受注拡大委員会 関西機械要素技術展
17 水	第3回人材育成委員会
21 日	婚 活
26 金	会員企業の取組み事例発表会

11月の行事予定

1 木	産業間連携委員会（森林技術センター-林業機械勉強会）
6 火	高知高専生との「県内企業研究会」
13 火	「生産計画と工程管理」研修
15～17	第7回ものづくり総合技術展への出展
17 土	こども鋳物教室
下旬	総務委員会・事業戦略策定事業推進委員会

※タイ王国サブコンとのMOU締結式
→11/17で検討中

MOU：Memorandum of Understanding（約束覚書）

★ トピックス ★



60年前の木毛削り機 再現

県工業会16社が挑戦 技術PRへ県内外出展

県工業会の会員企業16社が、半世紀以上に製造された機械の再現に取り組んでいる。全国唯一の專業工場が土佐市で操業する木毛削り機で、各社が得意分野を生かし、共同で製造。県内外の展示会に出展し、参加企業の技術をPRして共同受注などにつなげたい考えだ。（2018/9/30 高知新聞）

編集後記：事業戦略策定は産振Cの協力も得て完成企業は1年前の約80%増、着実に増加。高専生との県内企業研究会は初の試み。3団体への協力依頼、高専とのやりとり等々、参加企業数もますます。配置や詳細な詰めが残る。取組み事例発表会のプログラムの詰め等々もこれから・・・（にしうち）